

3号機 配管の肉厚点検状況について

平成 17 年 2 月 16 日

浜岡原子力発電所では、関西電力(株)美浜発電所3号機二次系配管破損事故以降に公表された他プラントの減肉事例を反映して点検範囲を広げ、計画的に配管の肉厚点検を実施しております。

3号機(平成17年1月14日から第13回定期点検中)において、配管の肉厚点検を実施していたところ、原子炉給水ポンプ駆動タービン(A)(1)グランド蒸気排気管(2)のエルボ部(曲がり部)(3)に微小な孔(2mm×6mm)が1箇所あること及び孔周辺が減肉していることを確認しました。

当該配管は、運転中は真空となっている復水器に接続されていることから、配管内部の圧力は周囲よりも低く、運転中に配管内部の流体が配管の外へ漏れ出すことはなかったと評価しております。

なお、本事象は原子炉の安全性に影響を及ぼすものではなく、また、外部への放射能の影響はありません。

今後、当該配管について詳細な原因調査を実施し、他の配管の肉厚点検を計画的に進めてまいります。

原因調査等の結果については、今後まとまった時点でお知らせします。

- 1 原子炉へ給水するポンプには、電動機により駆動するポンプと蒸気タービンにより駆動するポンプがあり、通常運転時はタービン駆動のポンプ2台(50%/台)により原子炉へ給水します。原子炉給水ポンプ駆動タービンとは、この原子炉給水ポンプを駆動するタービンのことです。
- 2 グランド蒸気排気管とは、タービン駆動のポンプにおいてタービンの軸部をシール(密封)するために供給している蒸気を、タービン軸部から復水器へ排気する配管のことです。
- 3 当該部の点検については、「自他プラント事例の反映」として、新たに点検を実施したものです。

以 上

浜岡原子力発電所 3号機 概略系統

